

第二十九回俳人協会「東北俳句大会・山形大会」成績

大会賞

西山 睦特選

巡礼や白靴に書く頭文字

山形 小関 恵子

竿灯は父の腰より立ち上がる

福島 古市 文子

老いてゆく惑ひのありぬ羽抜鶏

青森 小野 いるま

月山の皓と浮きけり袋掛

山形 武田 志摩子

鈴木 しげを特選

月山の皓と浮きけり袋掛

山形 武田 志摩子

どくだみや父祖の地にある開拓史

山形 木村 比紗子

このところ蕨長者となりにけり

青森 須郷 権太

雪囲解くは呪縛を解くごとし

山形 後藤 貞義

大畑 善昭特選

青林檎吾妻安達太良肩を組み

福島 加藤 十美子

靴音は揃はぬが好し敗戦忌

青森 村松 圭治

水切りの少年去りて葎雀

山形 鈴木 あい

今年竹風に添ふこと覚えけり

宮城 高橋 東子

山崎雅葉特選

有耶無耶の関を固めて氷果売り

岩手 小畑 柚流

雪匂ふ鍵穴茂吉生家かな

山形 小室 けい子

母記す「家の光」の古日記

岩手 鈴木 秀悦

佐々木踏青子特選

靴音は揃はぬが好し敗戦忌

青森 村松 圭治

躰糸取ること崩る白牡丹

山形 迎田 幸子

薪風呂の湯の柔らかし昭和の日

岩手 阿部 ゆき子

土井三乙特選

三男坊数学的な草刈す

山形 中川 美紀

水切りの少年去りて葎雀

山形 鈴木 あい

洗われてころころ笑う赤蕪

山形 山崎 和子

木村秋湖特選

輕鳧の子の水の遊びを覚えけり
さはやかに一札をして敗者たり
バスを待つ小さき緑蔭分かち合ひ
白濱一羊特選

秋田 中村 榮一
福島 柏倉 清子
宮城 高宮 義治

雲の峰未完成とは明日あること

山形 齋藤かつ志

この星は核の貯蔵庫天の川

山形 齋藤 耕次郎

レコードの針のつまづく桜桃忌

青森 今 順子

馬場吉彦特選

荒星の匂ふばかりや流水期

千葉 原 瞳子

モルダウのタクト空裂く薫風裡

青森 川口 巖溪

流水の哭く旅枕多喜二の忌

山形 横道 輝久子

坂内佳禰特選

語り部のシャツの水色原爆忌

山形 丹 まさよ

寒造り銘は名立たる山や河

山形 菊地 みさ子

晶子の忌たんぽぽ真苾まで黄色

山形 木村 比紗子

小林里子特選

金太郎ほどの筍出でにけり

青森 工藤 義人

大夕焼月山焦がしてしまひけり

山形 庄司 和子

牡丹や言葉きれいな人とるて

山形 鈴木 実

葉貫琢良特選

港の灯いつしか消えて明易し

山形 鈴木 幸子

着ぶくれて席譲らるる一人旅

山形 行方 絹代

踊り場に汗拭き登る立石寺

福島 伊藤 裕通

高杉正生特選

海峡の潮目くつきり鳥雲に

青森 小野 いるま

シテの出に火の粉連れ舞ふ薪能

山形 伊藤 ふみ

ゆったりと最上の舟唄梅雨明けける

宮城 小泉 三雄

松浦俊介特選

豆多き今年二度目の豆御飯

秋田 伊藤 恵美子

点滴の向うの空を夏燕

福島 村越 知枝

夕波の寄せて来る音花菜畑

宮城 村上 つね子

鈴木正子特選

月山の雲に跨り夏スキー

山形 横道 啓一

竿灯は父の腰より立ち上がる

福島 古市 文子

四ツ手網操る川の藻刈りかな

宮城 藤野 尚之

当日投句大会賞（村上喜代子特選四句）

川風もけふも過客や芋煮会
老いていく脛をさするや涼新た
赤とんぼ翅に月山透きとほる
朝顔や嬰の大きな足のうら

山形 猪俣 洋子
宮城 佐々木 三太郎
宮城 小野寺 みち子
山形 鈴木 あい

小野寿子特選

稲穂垂るけふ月山の雲厚し

福島 橋本 研二

澤口航悠特選

夫の墓残すふるさと萩盛る

山形 庄司 玲子

佐藤景心特選

鉋屑足に絡みて夜業果つ

山形 こせき 貴美子

鶴岡行馬特選

蔵王嶺は雲放さざり威銃

福島 佐久間 晃祥

橋本研二特選

鉋屑足に絡みて夜業果つ

山形 こせき 貴美子

阿部月山子特選

赤とんぼ翅に月山透きとほる

宮城 小野寺 みち子

三井量光特選

被災七年酷暑居据る桃畑

福島 葉貫 琢良